

事業計画書

<p>現在の地域課題に対する本事業での実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旧大沢小学校(本館)は、平成8年6月「学術上価値あるもの」として市有形文化財に指定され、今日に至っているが、歴史的建造物として正當に評価され、その価値や魅力が有効に生かされているとは言い難い。 ・専門的調査を行い近代木造小学校建築物としての歴史的文化的価値を検証し発表する。 ・調査の成果に基づき地域の歴史遺産又観光資源として有効活用を図る。
<p>対象となる人・範囲</p>	<p>佐久市民はもとより関心ある不特定多数の人。</p>
<p>事業の効果、達成目標 (達成目標はできる限り数値で示すこと)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>記載ポイント</p> <p>事業の ・公益性</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・旧大沢小学校(本館)の調査結果は、近代学校建築史に一石を投じるだろう。 ・旧中込学校と共に近代学校建築の歴史文化遺産として、観光資源はもとより佐久市全体の魅力アップにつながる。 ・数ある近代歴史建築物の中で、住民にとっては最も身近で関わりの深い施設の一つが木造小学校で、地域文化の中心となっていた。木造校舎は全国津々浦々に造られたが、今ではRC造りに変わり存在していること自体が珍しくなった。幼き頃、誰もが学び遊んだ学び舎は、何ものにも代え難く人々を感動させる。そんな懐かしい共通イメージとして抱かれている木造校舎のシンボリック的存在が旧大沢小学校(本館)だとしたらその価値は計り知れない。
<p>詳細 (活動内容・方法・スケジュール等をできるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>合う。記載ポイント</p> <p>事業の ・独自性 ・発展性 ・実現可能性 ・団体の自立</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学工学部建築学科(梅干野研究室)に依頼し旧大沢小学校(本館)の調査を行う。(令和3年度より調査継続中) ・調査結果に基づき報告会(講演会)を行う。(7月に予定) ・歴史的建造物として広く認知されるよう、校舎の公開や情報発信をする。旧大沢小学校(本館)の校舎建築資料等を作成し、見学者、市内の小中学校、公共施設等に配布する。旧大沢小用(見学者、イベント参加者等)2,500枚、道の駅・観光案内所・公共施設等1,500枚、市内小中学校配布1,000枚。ガイドの養成を図る。 ・旧大沢小学校(本館)は基礎から小屋組みまで堅牢に造られているのが特徴の一つだ。特に小屋組みは、洋小屋を模った独特のものであるため、その模型の作成と既設の屋根裏見学梯子を改良する。 ・旧大沢小学校は、明治・大正・昭和と、およそ一世紀に亘り地域の歴史を刻んだ身近な文化遺産だ。その価値を損なわないよう催し物等にも活用しながら保存し、古い木造校舎の価値と魅力を周知する。唱歌を歌う会、チェロ演奏会等の開催。 ・校内には、古い教科書をはじめ明治・大正・昭和の時代を伝える生活用品や農具などの民俗資料が数多く収集展示されている。中には、文化財指定クラスの貴重なものもあるので、校舎の魅力と合わせて周知する。
<p>重点テーマに該当する理由</p>	
<p>翌年度以降の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般公開日の増設、催し物(子供とお年寄りの交流会、高齢者の昔回想で認知予防等々)の定例化などの検討。